

職員各位

岐阜市長 柴橋 正直

令和9年度 当初予算編成に向けて

◆ 3つのキーワード

(1) 市政運営の基本方針「一年勝負」

積年の課題を解決する施策を実行し、着実に成果を上げること。

特に、名鉄名古屋本線鉄道高架化事業、岐阜駅北中央東・中央西地区第一種市街地再開発事業、企業立地、大学改革を推進すること。

(2) プライオリティマネジメント

市民と行政（職員）のタイムパフォーマンスの向上は、人口減少と人材不足の時代には不可欠であり、DX化の更なる推進を図ること。

マイナンバーカードの普及による住民票などのマイナ交付を標準化する他、各課窓口の予約制導入を推進し、行政サービスの窓口改革を図ること。

(3) 社会関係資本（ソーシャルキャピタル）と住民自治

ひとり暮らし高齢者が増えるなど孤独化・孤立化が進むとともに、自治会加入率の低下が、地域コミュニティの希薄化に繋がっている。自治会の負担軽減の具体的施策に取り組むとともに、ごみ処理有料化制度の開始による併用策や支援策について、実施状況を確認し、より良い改善を図ること。

◆ まちづくりの基本的な考え方（岐阜市未来のまちづくり構想(改定案)）

人や企業に選ばれ共に進化する岐阜市 / 豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた持続可能な岐阜市 / オール岐阜で共創する岐阜市
尚、「岐阜市未来のまちづくり構想」を改定するため議論を進めており、新たに必要なまちづくりの方向性については、適宜参考にすること。

◆ 政策のベクトル

(1) こどもファースト

- ◆ 民営化した保育園の園舎建替え支援を継続し、保育環境の充実を推進すること。
- ◆ 放課後児童クラブの民間委託による受入児童数の充実に取り組むとともに、在宅勤務の場合でも放課後児童クラブを利用できるようにすること。
- ◆ 不登校の低年齢化・低学年化問題に、引き続き取り組むこと。
- ◆ 学校の施設配置や規模の適正化に取り組むこと。
- ◆ 学校施設のLED化と教室のエアコン更新に取り組むこと。
- ◆ 岐阜市の公教育の価値を高め、岐阜市で人材育成を行うため、市立大学の改革、並びに市立高校の改革にも取り組むこと。

- ◆ 岐阜薬科大学のキャンパス移転・統合を着実に進めること。
- ◆ 改定する「岐阜市立新大学基本計画」を実現するための組織体制を整えること。

(2) 経済活性化

- ◆ ものづくり産業等集積地計画に着実に取り組むことで、企業立地を更に推進すること。
- ◆ 県外企業と市内企業の交流を図り、地域経済の活性化やスタートアップの支援に資するビジネス交流会を実現すること。
- ◆ 岐阜市中央卸売市場の改修に取り組むこと。
- ◆ 働きづらさを抱えた方が働ける社会をつくるワークダイバーシティを、引き続き推進すること。
- ◆ 史跡岐阜城跡整備基本計画に基づき、発掘調査による史跡の保存と、岐阜城天守閣の耐震化工事、織田信長公の庭園の復元整備、ビジターセンターの整備、山上部の城郭景観の復元整備による史跡の活用を推進すること。
- ◆ 宿泊税の財源を有効に活かし、地域 DMO を中心とした観光マーケティングと受入環境整備や誘客促進など、観光振興に取り組むこと。
- ◆ 伝統的漁撈文化ユネスコ登録推進協議会の活動を通して、ユネスコ無形文化遺産登録に取り組むとともに、ぎふ長良川の鵜飼の市営 100 周年を記念する事業を行うことで、鵜飼の価値を高めること。
- ◆ 「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」の第 2 期計画の登録申請を行うこと。

(3) 岐阜を動かす社会基盤整備

- ◆ 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業を進めるため、岐阜市担当分において、一部工事着手すること。
- ◆ 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業の推進に合わせて、JR 長森駅周辺や上川手地区の都市計画に基づく事業を推進するとともに、(仮称) 加納・中山道歴史まちづくり構想を策定すること。
- ◆ 再開発事業を推進すること。
- ◆ 再開発事業の進捗に合わせた JR 岐阜駅のハートフルスクエアG と図書館分館を、みんなの森 ぎふメディアコスモスの分館として一体的なリニューアルを行うための再整備事業を推進すること。
- ◆ 柳ヶ瀬エリアビジョンに基づき、アーケードの老朽化問題、柳ヶ瀬広場整備、大型商業施設跡のまちづくりなどの課題に、官民が連携して課題解決に向けて協力すること。
- ◆ 広域道路ネットワークの形成について、国・県と連携して取り組むこと。
- ◆ 自動運転バスの実証実験期間が、2027 年度末までであることから、その後の社会実装に向けて施策を検討すること。
- ◆ 岐阜市版 BRT を充実・強化するため、バス停の乗降環境整備に取り組むこと。
- ◆ 無人タクシーに関する施策を検討すること。

- ◆ 道路交通法の改正に伴う自転車の走行に関して、警察や道路管理者と連携して、自転車走行空間の路面標示による誘導施策に取り組み、自転車走行の安全対策を実施すること。
- ◆ 都市公園の再整備や各種公園の維持管理、適正配置を推進すること。

(4) 持続可能で幸せな市民生活

- ◆ 住民自治による芥見東公民館・芥見南公民館・東児童センターの移転・統合を着実に進めること。合わせて、隣接する公園の再整備にも取り組むこと。
- ◆ 両地区の自治会、各種団体の統合を支援すること。
- ◆ 各種行事や広報ぎふの配布のあり方など自治会の負担軽減を実現するとともに、一括交付金の導入などに一体的に取り組むこと。
- ◆ ごみステーションの集約などによる新たな設置に関して、住民自治による取り組みを、引き続き支援すること。
- ◆ 次期空家等対策計画を策定するとともに、空き家総数や分布等の調査結果に基づき、既存施策の総点検を実施し、空き家税の研究を進める他、実効性のある空き家対策に取り組むこと。
- ◆ 市営住宅の活用による大学生と地域コミュニティの繋がりを、大洞団地に限らず他の市営住宅においても検討すること。
- ◆ 不登校・ひきこもり・8050 問題に、引き続き一体的に取り組む、全ての人に居場所と出番のある社会づくりを推進すること。
- ◆ 障がい児の発達支援の拠点である恵光学園の施設更新に向けて、設計等に取り組むこと。
- ◆ 岐阜市民病院の経営安定化に向けた改革を、継続して行うこと。
- ◆ 保健事業と介護予防の一体的実施事業に引き続き取り組み、市民の健康寿命の延伸を図ること。
- ◆ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）など非感染性疾患（NCDs）の啓発活動やポピュレーションアプローチなどに、引き続き取り組むこと。
- ◆ ひとり暮らし高齢者が安心して住居を確保できるように、孤独死に対するセーフティネット施策に取り組むこと。
- ◆ 訪問看護・訪問介護事業者が、市民に必要なサービスを提供できる環境を確保するための官民連携ネットワークを構築すること。
- ◆ 合葬式墓地の整備について、納骨施設整備を着実に進め、2027 年度の供用開始を実現し、市民のニーズに応えること。
- ◆ 市民生活を支える重要なライフラインである上下水道施設の一体的な老朽化・強靱化対策、人材確保と受益者負担原則による健全経営を推進すること。
- ◆ 頻発化、激甚化する豪雨災害に対して、遊休農地を活用した雨水貯留のモデル事業に取り組むこと。
- ◆ 豪雨災害から都市機能を守るため、止水板の設置補助事業に取り組むこと。
- ◆ 旧南庁舎跡、市民会館など中心市街地の老朽化した公共施設のあり方、公共施設の再配置について検討を進めること。

- ◆ マルチタスクな窓口の開設、住民票のコンビニ交付の標準化を進める他、市民満足度の高い「おくやみ窓口」の成果を活かし、窓口 DX や市民のタイムパフォーマンス向上などを図ること。